

あさひの守り人通信 第11号



2026年1月28日
朝日村防災士会
朝日もりびと会発行
代表 横山吉美
文責 山崎佳典

こんにちは、朝日もりびと会です。

厳しい寒さが続く毎日です。

凍結や大雪への注意に目が向きがちですが、同時に風が強く、空気が乾燥する季節でもあるため、私たちが思っている以上に「火」の扱いに注意が必要です。

今月から、林野火災注意報の運用が始まりました。

山や田畑、住宅地が近い地域では、ちょっとした火の不始末が大きな火災につながるおそれがあります。「自分のところは大丈夫」と思っている、風や乾燥の影響で、火は簡単に広がってしまいます。

今回の防災士通信では、林野火災注意報とはどんなものか、

そして私たち一人ひとりが日常生活の中で気をつけたいポイントについて紹介していきます。



ASAHI.MORIBITO

朝日もりびと会
Instagram

林野火災注意報と林野火災警報の運用が始まりました

一火の取扱いについて、今知っておきたいこと一



今年から新たに林野火災に特化した注意報と警報の運用が始まりました。空気が乾燥しやすい1月から5月が発令の対象です。文字通り、「林野火災が発生・延焼しやすくなった場合」に発令されます。

「誰が判断し、何に気をつければよいのか」を整理してお伝えします。

林野火災注意報・林野火災警報とは??

降水量、湿度、風の強さなどの気象条件をもとに、消防局が地域の状況を踏まえて判断し、発令するものです。



● 林野火災注意報 ●



林野火災が起きやすい状況で発令

- ・ 法的に火の取扱いを制限します。火災が非常に起きやすい状況です。
- ・ 屋外での火の取扱いは、強く控えることが求められます（努力義務）。
- ・ 万が一火災が発生した場合、責任が重く問われる可能性があります。

● 林野火災警報 ●



林野火災発生の危険性が高い場合に発令

- ・ 屋外でのたき火、野焼き、枯れ草焼きなどは原則できません。
- ・ 事前に届出を出していても、実施は不可です。
- ・ 条例に基づく制限であり、違反した場合は罰則の対象となることがあります。



行事や作業で火を扱う際には、注意報・警報の発令状況を必ず確認しましょう。

→確認方法の詳細は次のページで!!!



とても大事です！注意報・警報の確認方法

林野火災注意報や警報は、常に発令されているものではないので、確認をする必要があります。
確認方法は以下のとおりです。



・松本消防局ホームページ

<https://www.m-kouiki119.jp/>



HPの「林野火災注意報・火災警報の発令状況」という赤枠のバナーをクリックまたはタップ

・災害情報メール（配信登録の必要があります）

HP右の「火災情報」のバナーをクリックまたはタップ→「火災情報提供サービス」
画面上の案内に従ってメールを送ると登録に進めます。

ご自分の地域の発令と解除の情報だけでなく、火災情報も配信されるのでおすすめです。

・松本広域消防局公式X（旧Twitter）

*発令情報は掲載されますが、解除についてはHPでの確認が必要です。

たき火や野焼きなど、屋外で煙や炎が見える日の使用については、通常時でも事前に届け出が必要な場合があります。

ただし、林野火災警報が発令されている場合は、届け出の有無にかかわらず、実施することはできません。

迷ったときの考え方

判断に迷う場合は、

「やらない」「延期する」選択が、地域全体の安全につながります。

林野火災注意報・火災警報は、地域の山や暮らし、命を守るためのサインです。

一人ひとりが正しい情報を知り、落ち着いて行動することが、火災を防ぐ一番の近道です。



不安な時はコチラにお電話を！
松本広域消防局予防課
0263-25-1599

もりびとコラム

郵便局の現場判断が守った命



私は地域の企業に勤務する立場として、防災士会の活動に関わらせていただいています。日本郵政グループでは、災害時に社員と地域のお客様の安全を最優先とする考えが共有されています。郵便局の業務は日々地域を回り、住民の皆さんの暮らしに接する仕事でもあります。2021年7月の静岡県熱海市土石流災害では、現場付近で配達中だった社員が危険を察知し、自ら判断して業務を中止し帰還しました。日頃から地域を見守り、災害を意識して行動する積み重ねが、非常時の的確な判断につながった事例だと感じています。企業防災は、地域を知り、守ろうとする日常の延長線上にあるものだと思います。

朝日郵便局長 川上 充



編集後記

林野火災注意報の運用が今月から始まりました。国内の複数個所で林野火災や住宅火災が発生し、延焼している様子が連日報道されていますが、この注意報や警報を理解している人はまだまだ少なく、浸透するには時間がかかると感じました。

この機会に目を通していただき、自分たちの心がけで火災の発生を食い止めていきたいと感じました。M